

追 悼 の 辞

本論文集は、札幌大学に在職された11年の間、経営学部教授として教育と研究のみならず、校内運営の面でも大きな功績を残され、1995年6月12日に逝去された横川義雄先生にたいし深い哀悼の意を込めて捧げるものであります。1981年3月定年により退職された後も本学名誉教授として講義をされていたお元気な先生のお姿を思えば、その突然の訃報は私たちには全く思いもよらないことでした。

横川先生は、1970年4月本学経営学部の経営学担当教授として赴任されました。すでに1950年代から経営学に関する研究を開始されていた先生は、それ以降一貫してその研究成果を日本経営学会を中心に発表してこられました。先生のご研究は、経営の組織や管理の分野に焦点を据えながら経営学全般に及んでおり、巻末の著作目録に示されるように実に豊かな内容のものであります。学識の深さと幅の広さにもとづく先生のご研究とその学会活動は日本経営学会とりわけ北海道部会の発展に貴重な足跡を残されました。また、社会的活動にも積極的に関わられ、長きにわたる商業高等学校長や短期大学での教育実践で培われた経験をもとに北海道における産業・商業教育の振興に大いに貢献されました。

先生は、経営学研究への厚き情熱を心の奥に秘めながらも、その温厚で篤実なお人柄ゆえに教職員はじめ多くの卒業生や現役学生たちから多大の尊敬を集めておられました。わけでも先生が本学部での商業科教員の養成に力を注がれ、今日、北海道内の商業教育における本学部出身教員の確固たる地位の礎を築かれたことは特筆すべき事柄であります。

経営学部の運営面においても学部長、電算機室長、産業経営研究所長を歴任され、本学部の発展に大きく寄与されました。特に、学部長在任中にコンピュータ・情報教育の重要性を認識されて電算室の充実に中心的役割を果たされ、同時に、学部附属の産業経営研究所の設置をも実現されてその初代所長として研究体制の整備にも力を発揮して下さいました。

こうした教育、研究そして行政の領域全体におよぶ先生の地道なお仕事ぶりとそのご尽力にいま改めて深く感謝し、敬意を表さずにはおれません。

永久の別れは世の常ではありますが、人格・学識を兼備された先生が帰らぬ人となって

しまわれたことは痛恨の極みであります。しかし、先生の残された教育・研究の足跡とその功績は、多くの人々の心のなかに記憶されつづけることでありましょう。先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

1996年12月10日

札幌大学経営学部附属産業経営研究所長

平 尾 武 久